



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和6年3月11日 No. 20
園長 安藤賢治

一番大事なのは…命！～希望の象徴に～

◆13年前・・・あなたは、何をしていましたか？

あなたは、何を感じましたか？・・・あれから、13年目の【3. 11】

<私の場合>

“めまいがする。あれえ～、違う！ 揺れているのだ。”

寄宿舍のある某学園の寮で座っていた時でした。

子供たちが帰ってきました。「すっごく、揺れたねえ。怖かった～。」

その後、TVから流れてくる映像に、子供たちも言葉を失いました。

(正直、自分のこと以外、気にせず生きてきた子たちですが…)

彼女らの口から「かわいそうすぎる。心配。生きていてほしい。」

(まなざしが変わっていました。今の自分を見つめてもいました。)

《心に刻む》

*家族と2年目の夏、
現地を訪ねました。
その先々で目を疑い、
現実を知りました。

➤よく知られている「奇跡の一本松」



およそ7万本の松があった震災前の高田松原。「白砂青松の美しさ」と言われ、国の日本百景に指定されていた。海水浴場は雪景色。(撮影日：2007年2月4日/写真提供：陸前高田市)



東日本大震災翌月の奇跡の一本松。高田松原の松林(右)は壊滅した=岩手県陸前高田市で2011年4月29日、本社ヘリから石井諭撮影(毎日新聞)



保存作業前、2011年5月21日(毎日新聞)

○子供たちに人気の「アンパンマン」*当時“元気づけられる”とよく流れていた曲の一つです。

その原作者：やなせたかしさん ～次世代への「メッセージ」～



5月30日付朝日小学生新聞に掲載されたやなせたかしさんの連載「メルヘン絵本」= (C) やなせたかし

♪陸前高田の松の木♪ (作詞:やなせたかし) より

陸前高田の松の木は、

- 1 みんなの命の友達だ
- 2 命をつなぐ友達だ
- 3 海の墓場の砂の下
- 4 命をつなぐ希望の木

ぼくらは生きる 負けずに生きる
生きてゆくんた オーオー



た) 手作りが大流行

➤ 奇跡の一本松は、【希望の象徴】

*高田松原にあった約7万本の松林のなかで、東日本大震災の津波に耐えて奇跡的に残った樹齢173年 高さ27.5m の一本の松です。(1年2か月後 枯死)・・・現存の木は、モニュメント

・・・心に刻みたい・・・

★私たちは、子供たちにとって、常に“希望の象徴”だろうか。

*やなせたかしさんの責任編集雑誌「詩とメルヘン」の掲載詩は、いつもこう結ばれていました。

ところで、あなたは？